

大垣市新庁舎建設基本設計
【概要版】

1	新庁舎の概要・・・・・・・・・・	01
	01. 敷地概要	
	02. 建物概要	
2	基本理念・コンセプト・・・・・・・・	02
3	設計の基本方針・・・・・・・・・・	03
4	配置計画・・・・・・・・・・	04
	01. 配置計画	
	02. 動線計画	
	03. 駐車場計画	
5	平面計画・・・・・・・・・・	05
	01. フロア構成	
	02. ゾーニング	
	03. 低層階（1 ～ 2 階）平面計画	
	04. 中層階（3 ～ 6 階）平面計画	
	05. 高層階（7 ～ 8 階）平面計画	
6	意匠計画・・・・・・・・・・	08
7	ランドスケープ計画・・・・・・・・	09
8	防災計画・・・・・・・・・・	10
9	環境計画・・・・・・・・・・	10
10	ユニバーサルデザイン計画・・・・・・・・	11
11	構造計画・・・・・・・・・・	12
12	設備計画・・・・・・・・・・	12
	01. 電気設備計画	
	02. 機械設備計画	

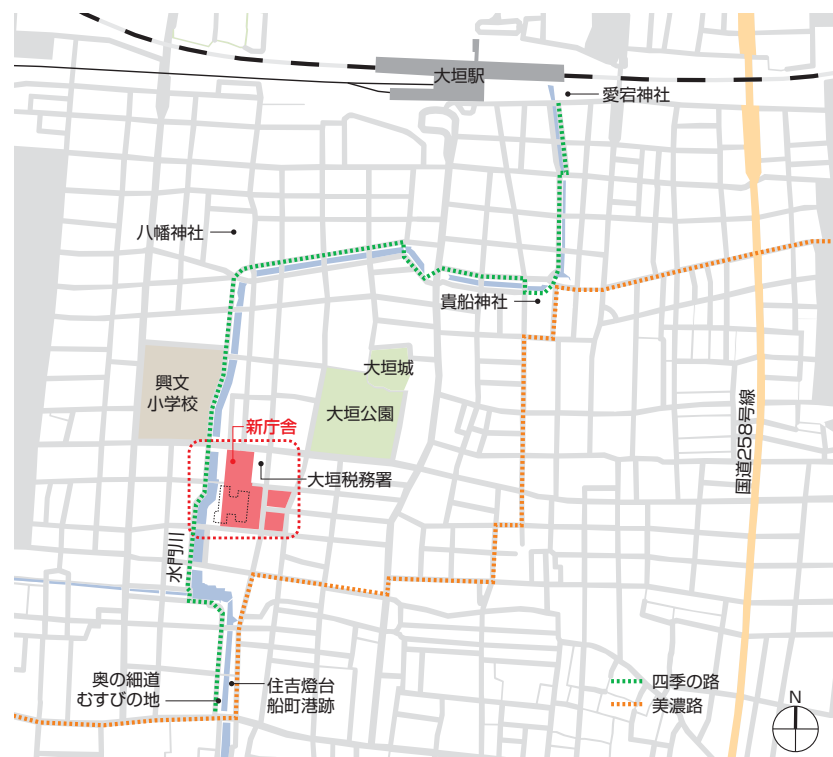
1 新庁舎の概要

01. 敷地概要

1. 建設地	岐阜県大垣市丸の内 2 丁目 29 番地 他 18 筆
2. 敷地面積	約 11,800㎡
3. 法定建ぺい率	80%
4. 法定容積率	400%、一部 500%
5. 用途地域	商業地域
6. 防火地域	準防火地域、一部防火地域

02. 建物概要【本体】

1. 建築面積	約 3,400㎡
2. 建蔽率	約 29%
3. 延床面積	約 20,400㎡
4. 容積率	約 173%
5. 構造	鉄骨造（免震構造）
6. 階数	地上 8 階 塔屋 1 階
7. 最高高さ	約 38m
8. 地業・基礎	杭基礎



案内図



南西からみた新庁舎のイメージ

2 基本理念・コンセプト

市民の集う庁舎 —大垣のまち、歴史・文化、水をむすぶ—

中心市街地に位置する新庁舎は、城下町らしい落ち着いたデザインとし、低層部分を町並みのスケールに合わせるなど、大垣らしさを感じさせる新しいランドマークとします。新庁舎の横を流れる大垣城の外堀であった水門川に沿って、緑豊かで、水と親しむことのできる丸の内公園やイベント広場として利用できる多目的な駐車場などを一体的に整備し、新しい魅力的な都市空間を創出します。



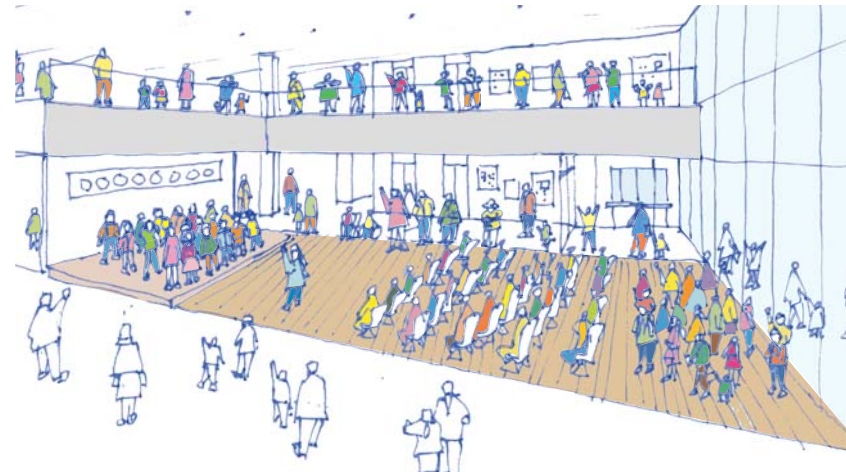
にぎわいの“土間”

新庁舎の西側には、1, 2階に小空間が連なる“土間”をつくります。丸の内公園と内部の空間を互に入り組ませることで、かつての大垣の風景のような様々なにぎわいを連続的に感じることのできる空間とします。



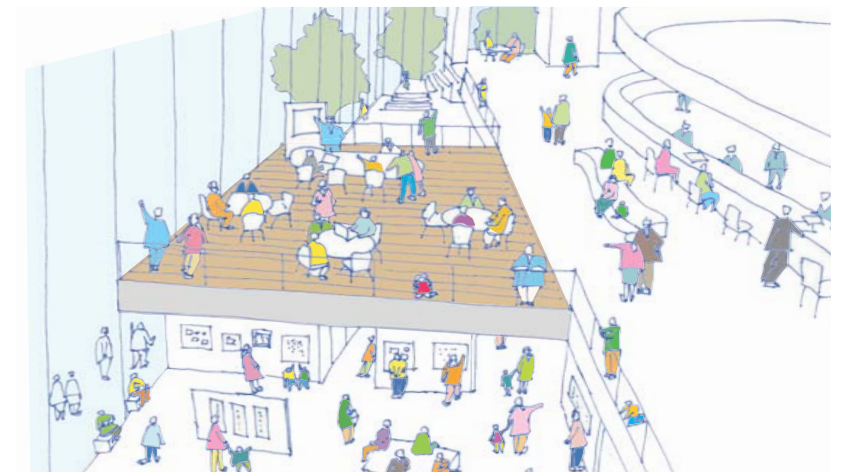
市民活動の“舞台”

新庁舎の顔となる正面玄関には、ミニコンサートや作品展示など市民活動の発表の“舞台”をつくります。市民ロビーとの一体利用による市民イベントなど、様々な利用目的に対応できる柔軟性の高い空間とします。



学び、集い、語らいの“テラス”

正面玄関に面する2階には、吹抜けの中に浮かぶ、市民と行政が協働・交流する場となる“テラス”を設けます。市民が気軽に立ち寄り休憩したり市政情報を得ることで、大垣に親しみ理解を深める空間とします。



3 設計の基本方針

■ 基本方針

1. 利用しやすく人や環境に優しい庁舎

2. 防災拠点となる安全安心な庁舎

3. 多機能で経済的な庁舎

4. みんなの交流の場となるシンボリックな庁舎

■ 設計の基本方針

誰もが使いやすく、 自然エネルギーを活かした庁舎

利用者の多い窓口部門を低層部に広く確保し、ユニバーサルデザインを基本とした、全ての来庁者にとってわかりやすい庁舎とします。また、水都大垣の地域特性を踏まえた自然エネルギーの有効活用を図ります。

防災拠点として 市民の生命と財産を守る庁舎

防災拠点施設として、耐震性を高める免震構造を採用するなど、地震、水害ほかあらゆる災害時においても機能を維持し続け、市民の安全安心を守る自立型庁舎とします。

将来の変化に対応する 長寿命・多機能庁舎

将来の機構変更にも柔軟に対応できる空間構成や、利用形態に合わせて多様な使い方ができる計画とすることにより、長く使い続けることのできる経済的な庁舎とします。

水を生かし、緑を広げ、 まちづくりの拠点となる庁舎

市民のみならず、本市を訪れる方々が気軽に休憩し、交流できる憩いの場を設けます。また、四季の路、水門川、大垣城のほか、養老山脈、伊吹山など、地域のシンボルを見渡すことのできる計画とします。



南西からみた新庁舎の鳥瞰イメージ

4 配置計画

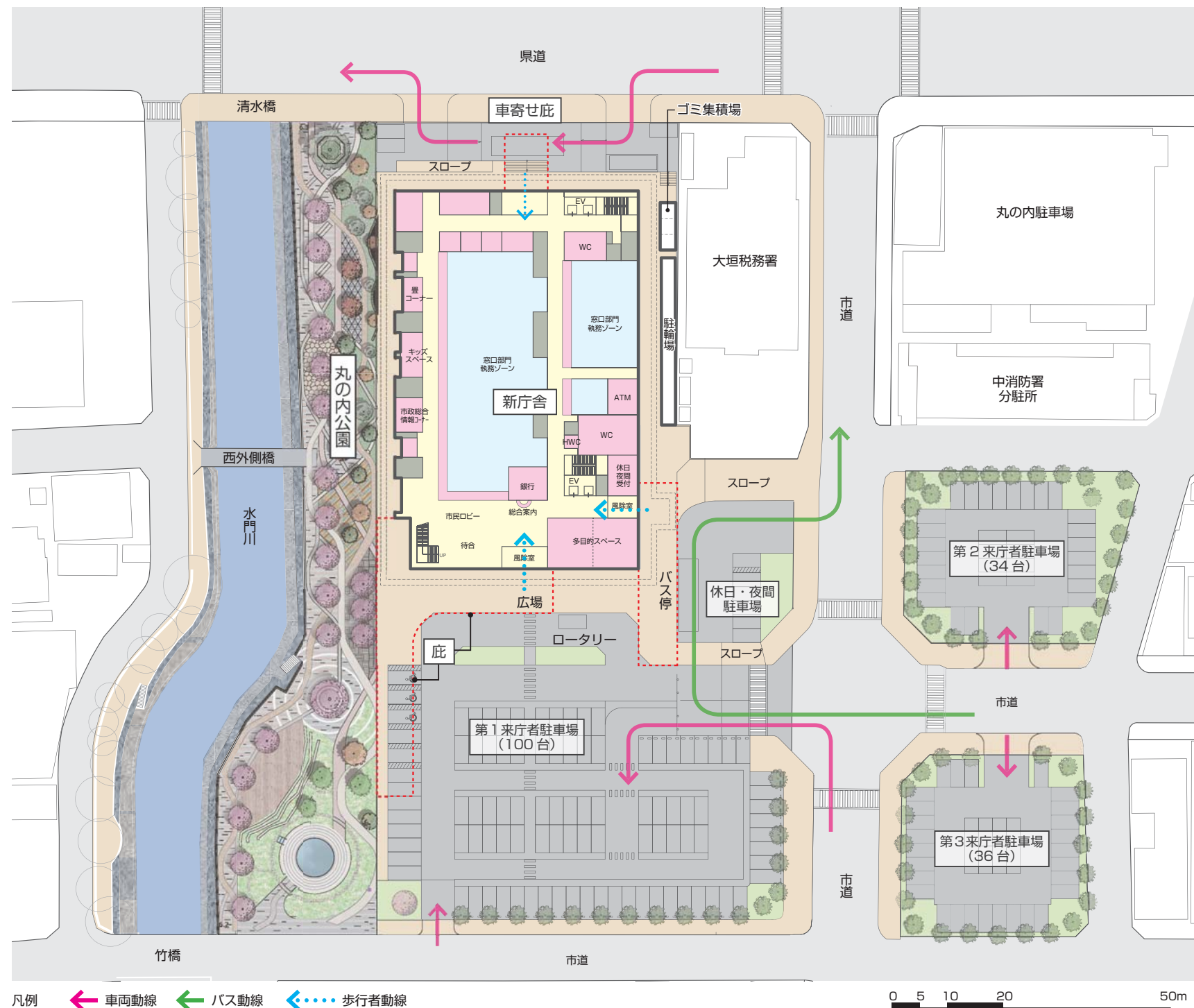
01. 配置計画

- ・新庁舎の建物位置は、現本庁舎の運用や敷地形状を考慮して北側に配置し、南側には、日当たりのよい広場とまとまった駐車場を配置します。
- ・新庁舎西側の水門川に沿って、丸の内公園を移設し、新庁舎、公園、水門川が一体となる整備を行います。
- ・現本庁舎の一部を先行解体することにより、市民利用が主体となる低層部の床面積を最大限に確保します。これにより、窓口や市民利用スペースを低層階に集約します。



02. 動線計画

- ・建物南側に正面玄関を設けるとともに、北・東側にも出入口を設け、来庁者がどこからでもアクセスしやすい計画とします。
- ・路線バスのバス停を新庁舎敷地内に移設し、バス利用者の利便性に配慮します。
- ・正面玄関前の車寄せや東側バス停等には庇を設け、雨に濡れずに建物内に入ることができる計画とします。
- ・来庁者駐輪場は、建物東側に設け、アクセスしやすい計画とします。
- ・建物北側の出入口付近には、大型の搬入車両などが寄り付けるスペースを確保します。



03. 駐車場計画

- ・来庁者駐車場は、新庁舎敷地、旧丸の内公園に車いす・思いやり駐車場（6台）を含め、計170台計画し、駐車場入口や空き状況の表示など、分かりやすい誘導案内を行います。
- ・新庁舎東側の入口付近に休日・夜間駐車場を配置し、昼間はバスの停留スペース、休日・夜間は来庁者用の駐車スペースとします。
- ・第1来庁者駐車場は、円滑な進入、退出ができるよう、出入口を2か所設けます。東側市道からの進入については、導入路を長く設け、駐車待機車両による市道の渋滞を防ぎます。

5 平面計画

01. フロア構成

1. 低層階（1～2階）

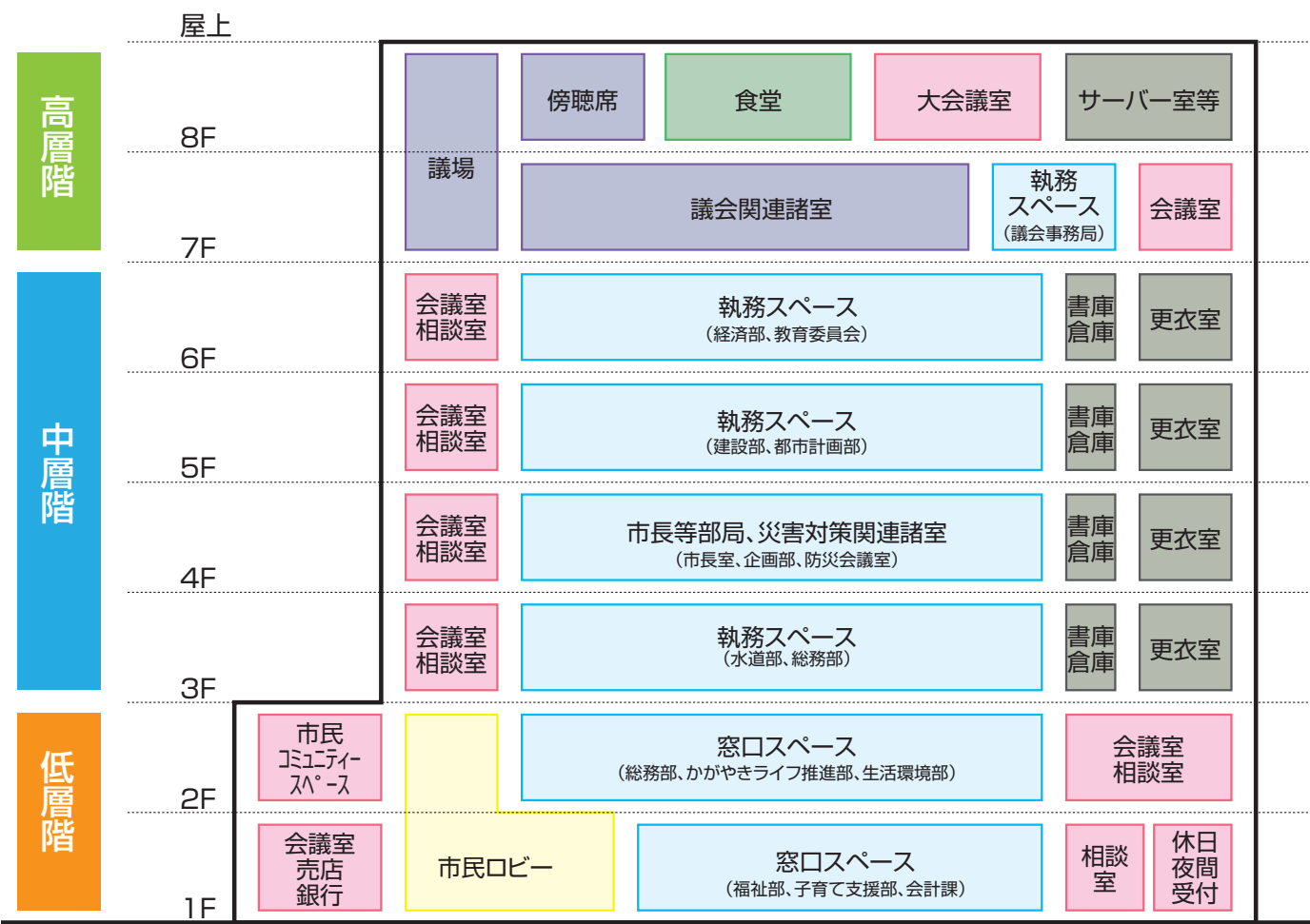
- ・市民の利用頻度が高い窓口は、1・2階に集約して配置し、市民の利便性を高めます。
- ・市民参画協働を育む拠点として市民コミュニティスペースを設けます。

2. 中層階（3～6階）

- ・4階には、市長等関連部局と災害対策関連諸室を同じフロアに配置することで、日常的な連携を高め、災害時にも即時対応可能な計画とします。

3. 高層階（7～8階）

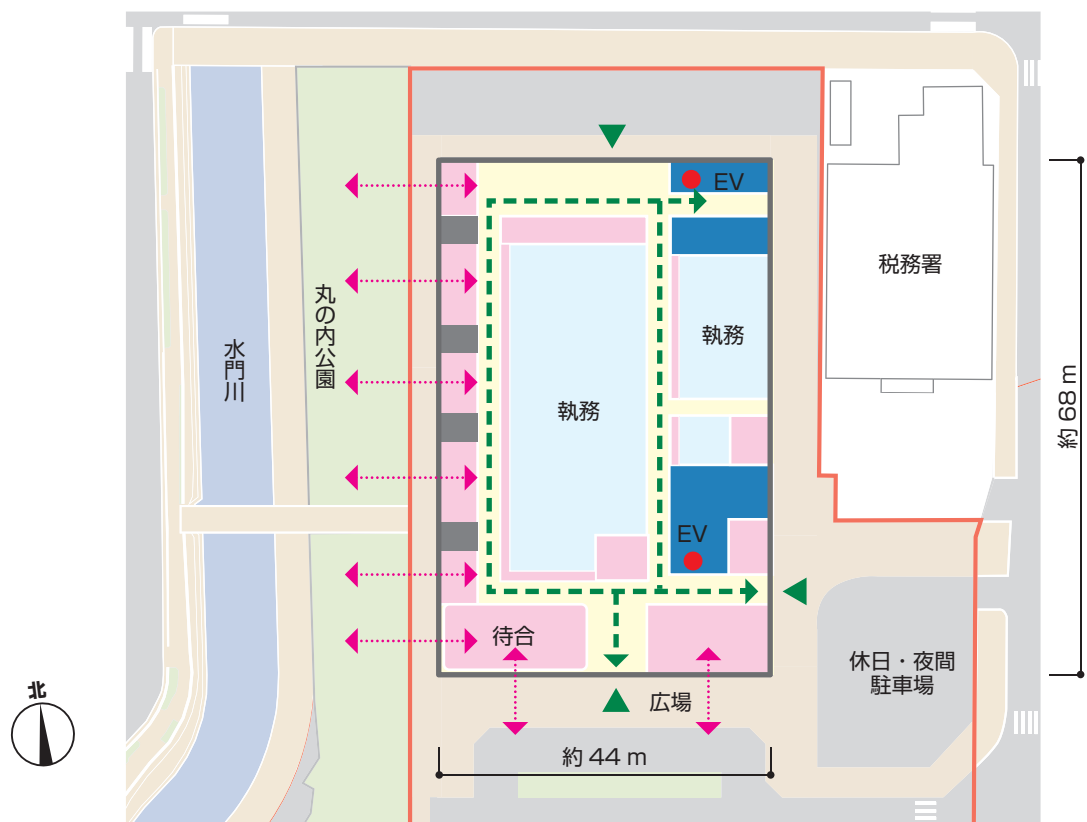
- ・議会関連諸室は、7階に集約して配置することで、市の意思決定機関としての独立性を高めます。
- ・最上階となる8階には、議場傍聴席のほか、見晴らしの良い食堂や大会議室を配置することで、市民が利用しやすい計画とします。



02. ゾーニング

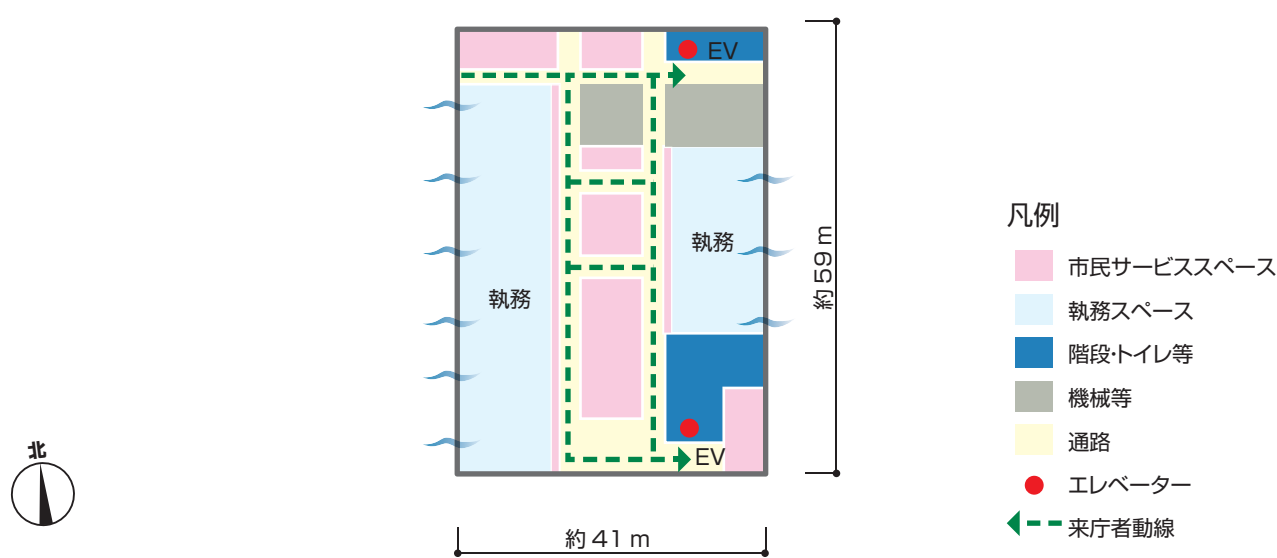
1. 低層階のゾーニング（1, 2階）

- ・市民利用の多い低層階は、西側の丸の内公園と水門川、南側の広場に面して、窓口カウンターや待合スペースを配置します。これにより、市民サービススペースを丸の内公園や広場と一体的な空間とします。



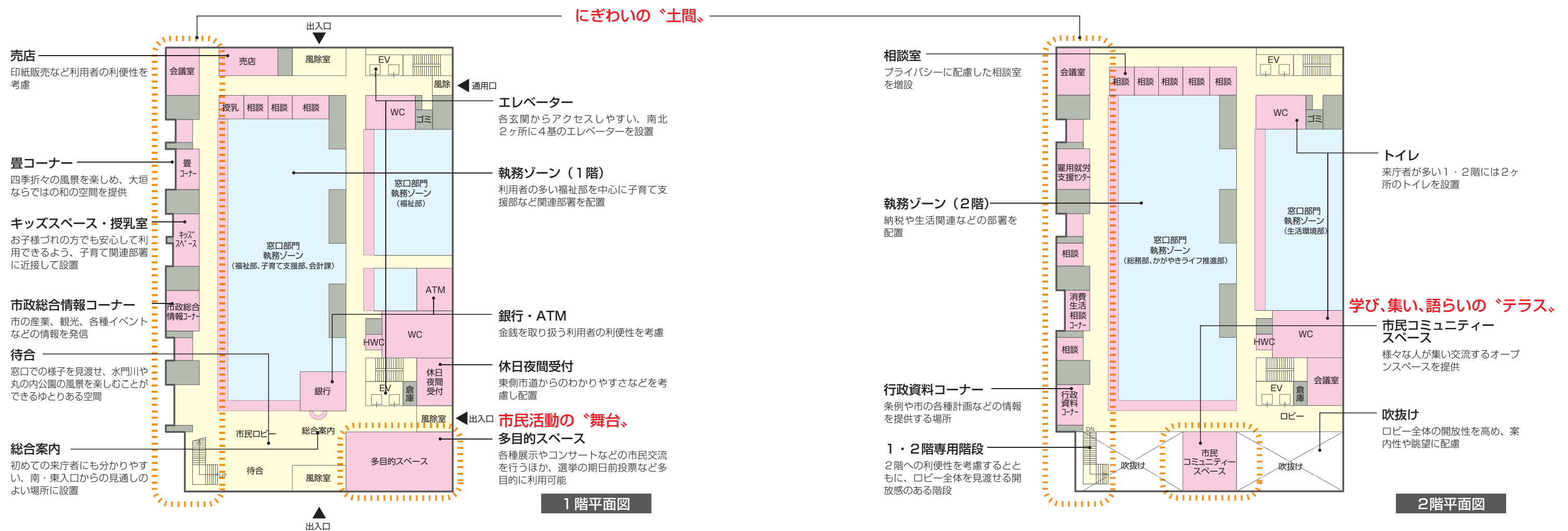
2. 基準階のゾーニング（3, 5, 6階）

- ・基準階は、中廊下型の構成とすることで、来庁者動線の短縮化を図ります。
- ・執務空間は、適切な奥行きを確保するとともに、東西面からの自然採光・通風を確保できる計画とします。



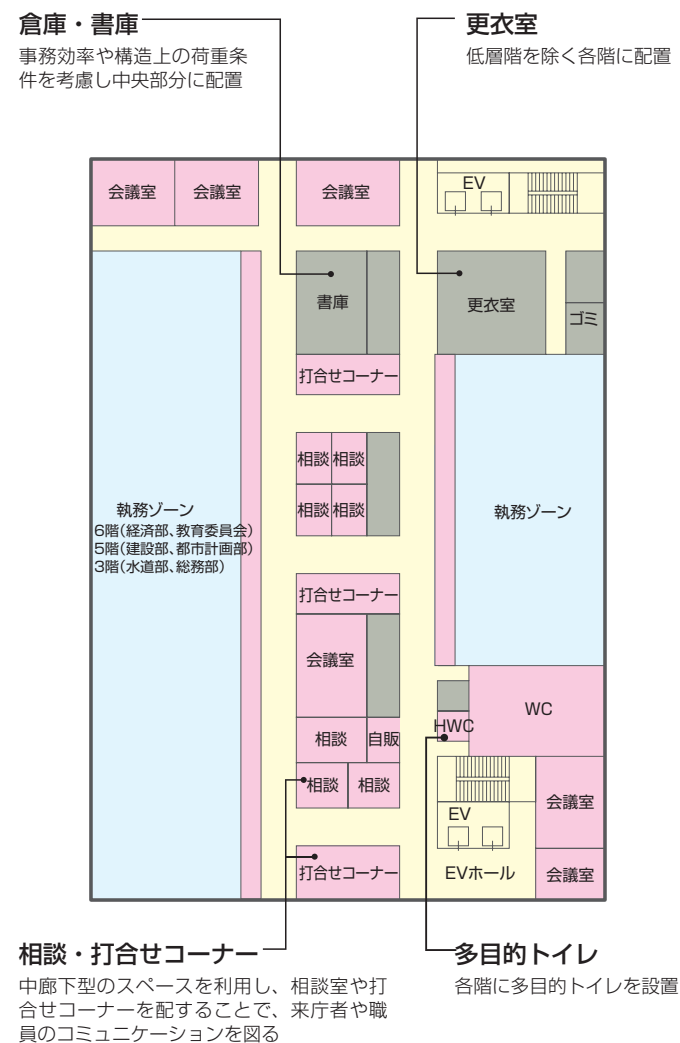
5 平面計画

03. 低層階（1～2階）の平面計画

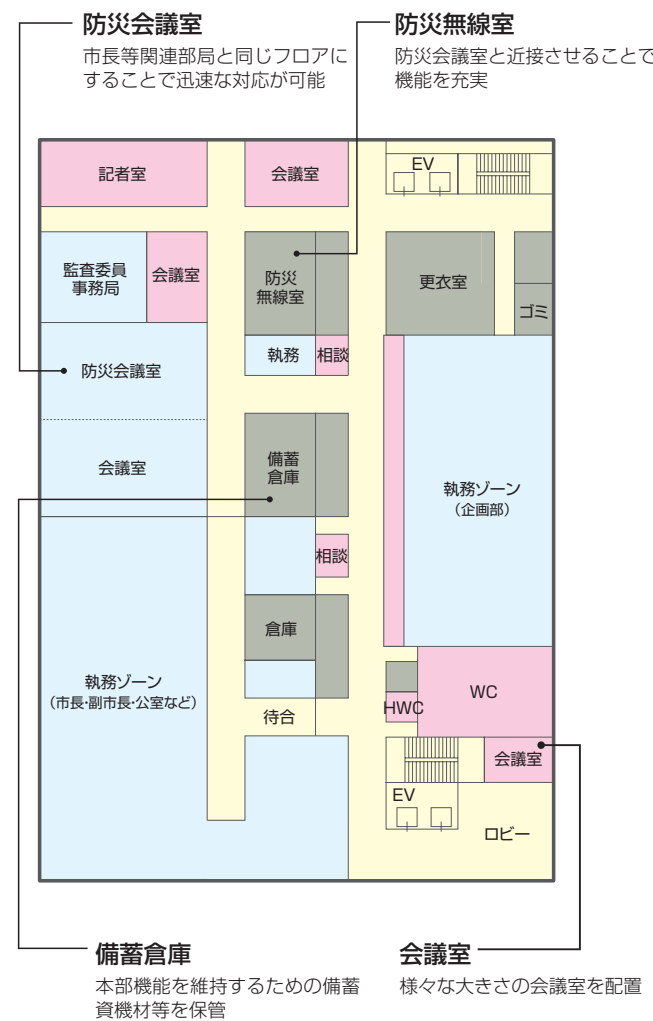


5 平面計画

04. 中層階（3～6階）の平面計画

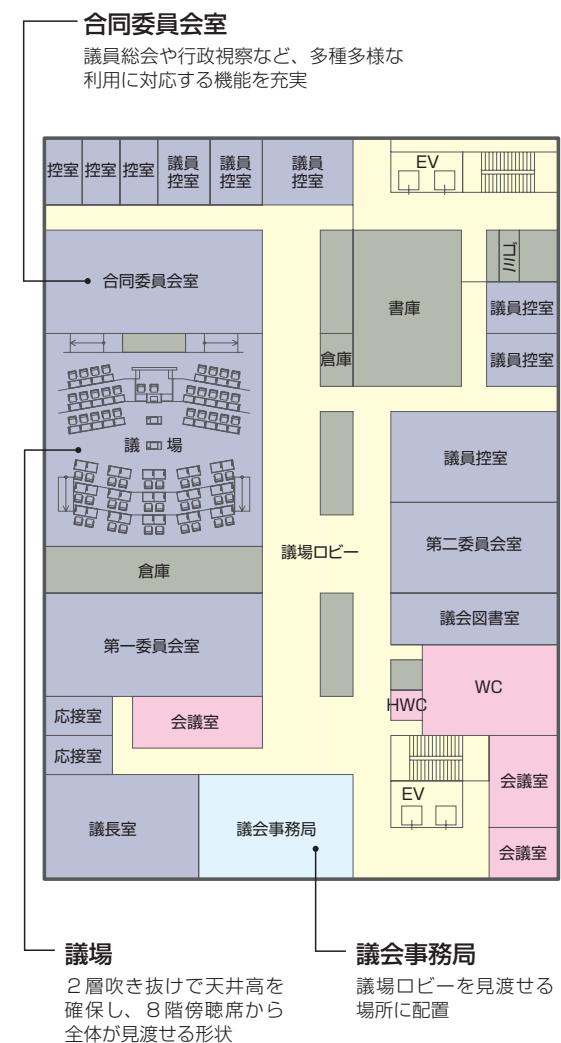


3・5・6階平面図

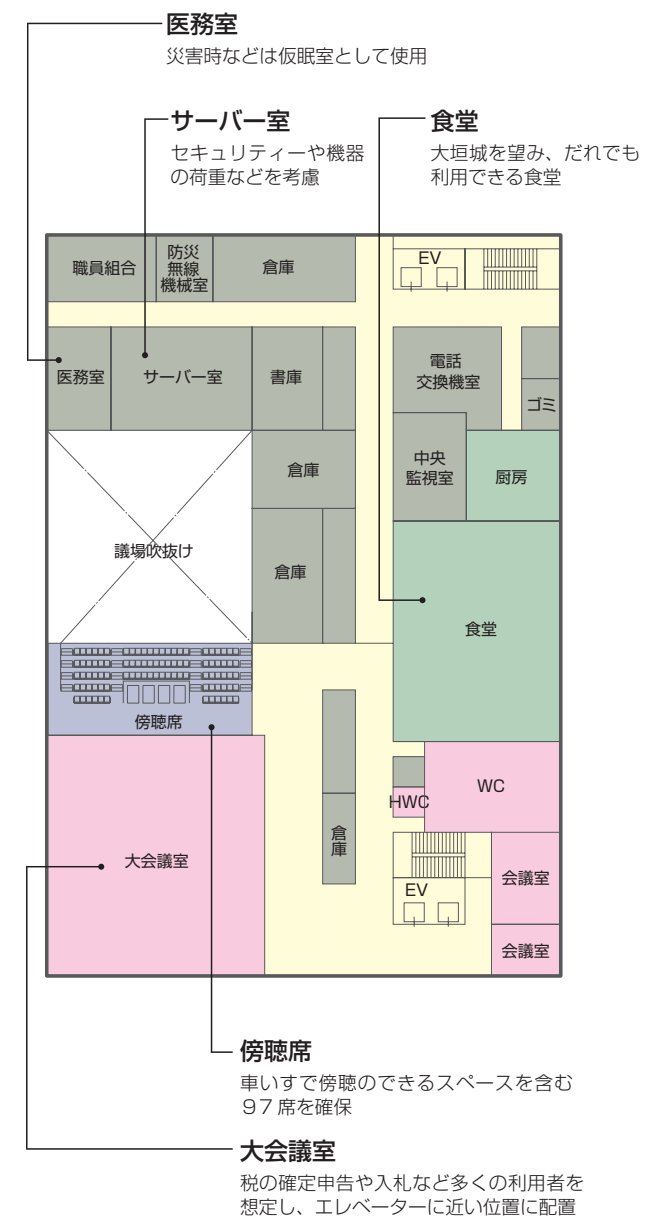


4 階平面図

05. 高層階（7～8階）の平面計画



7 階平面図



8 階平面図



6 意匠計画

1. 城下町大垣との調和

- ・水門川の流れに沿い、水平線が重るように西日負荷を軽減する庇や視線を抑制するバルコニー手摺などを設け、低層部の窓の一部に細い縦格子状のルーバーを入れるなど大垣の伝統・文化を感じさせる繊細な和のデザインを採り入れています。
- ・大垣の歴史を感じる伝統的な素材を用いるほか、落ち着いた色彩計画により、城下町大垣にふさわしい景観を創り出します。



深い庇



連子格子



落ち着いた色調

2. 周辺環境との調和

- ・水門川や新丸の内公園に面する西面と広場に面する南面は、3階以上の壁面を後退させ、1,2階部分を町並みのスケールに合わせることで、親しみやすく、丸の内公園と一体となった潤いのある景観を形成します。
- ・新庁舎は8階建とすることで、敷地周辺の景観との調和を図ります。

3. 丸の内公園との調和

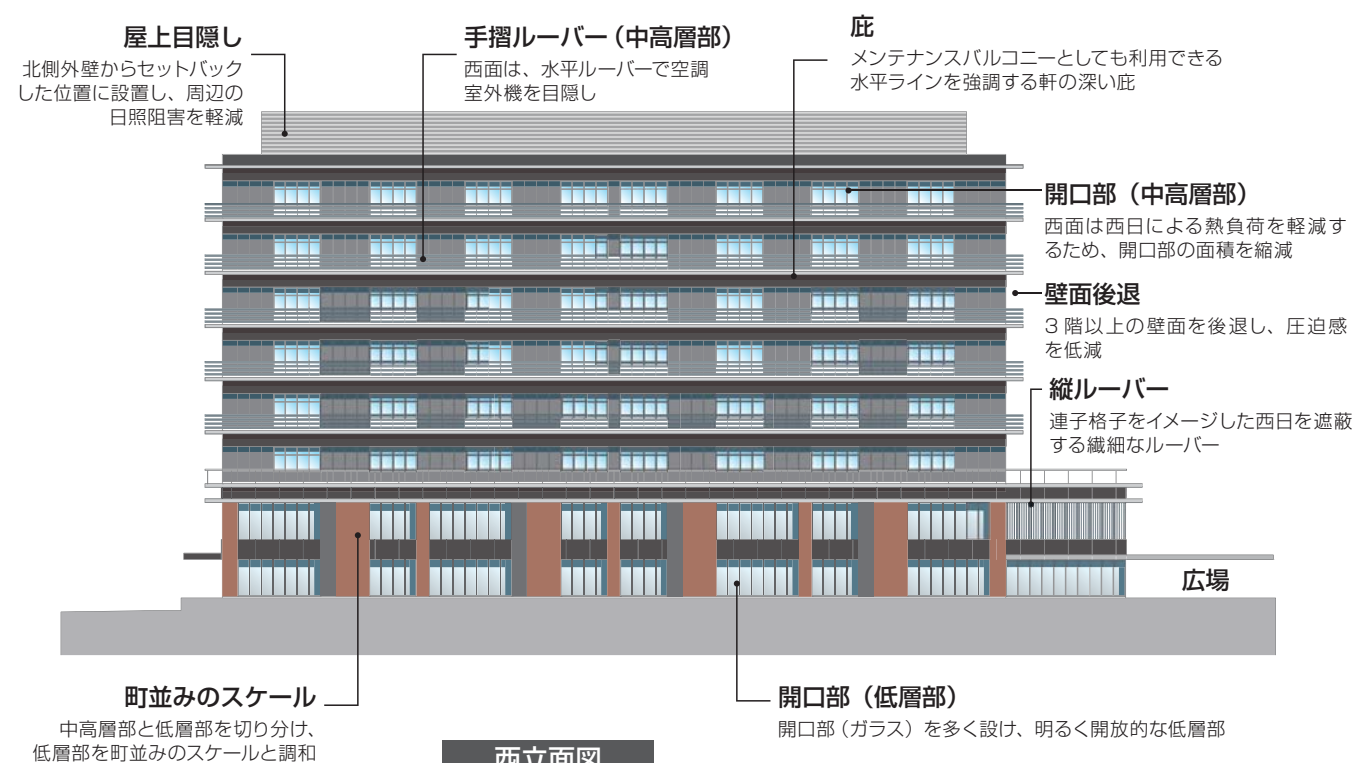
- ・新庁舎の低層部は、ガラス面を多く設けた明るく開放的な計画とし、新庁舎の中からは、四季折々に変化する新丸の内公園の豊かな緑や、水門川の水辺の景色を取り込み、外部からは新庁舎内部の市民活動やにぎわいの様子が伺える計画とします。



北西からみた外観のイメージ



南東からみた外観のイメージ



7 ランドスケープ計画

1. コンセプト

ー 水都・大垣を知るー

- ・新庁舎の西側に移設する新丸の内公園は、「水都大垣」をイメージするプロムナードを整備し、対岸の四季の路と連携する潤いのあるテラス空間とします。
- ・様々な大きさの場を造り繋げることで、ヒューマンスケールからイベントスペースまで対応する、変化のある空間構成とします。また、井水による水盤等をつることによって、水と親しむことのできる広場空間を提供します。
- ・新庁舎内と外部を視覚的に繋げる仕掛けをすることにより空間に広がり一体感を与えます。
- ・ランドスケープは和のデザインを基調とし、新庁舎との調和を図ります。
- ・四季の彩り（四季の里で見られる植栽等）に防風効果もある常緑樹を織り交ぜながら多彩な植栽計画とします。

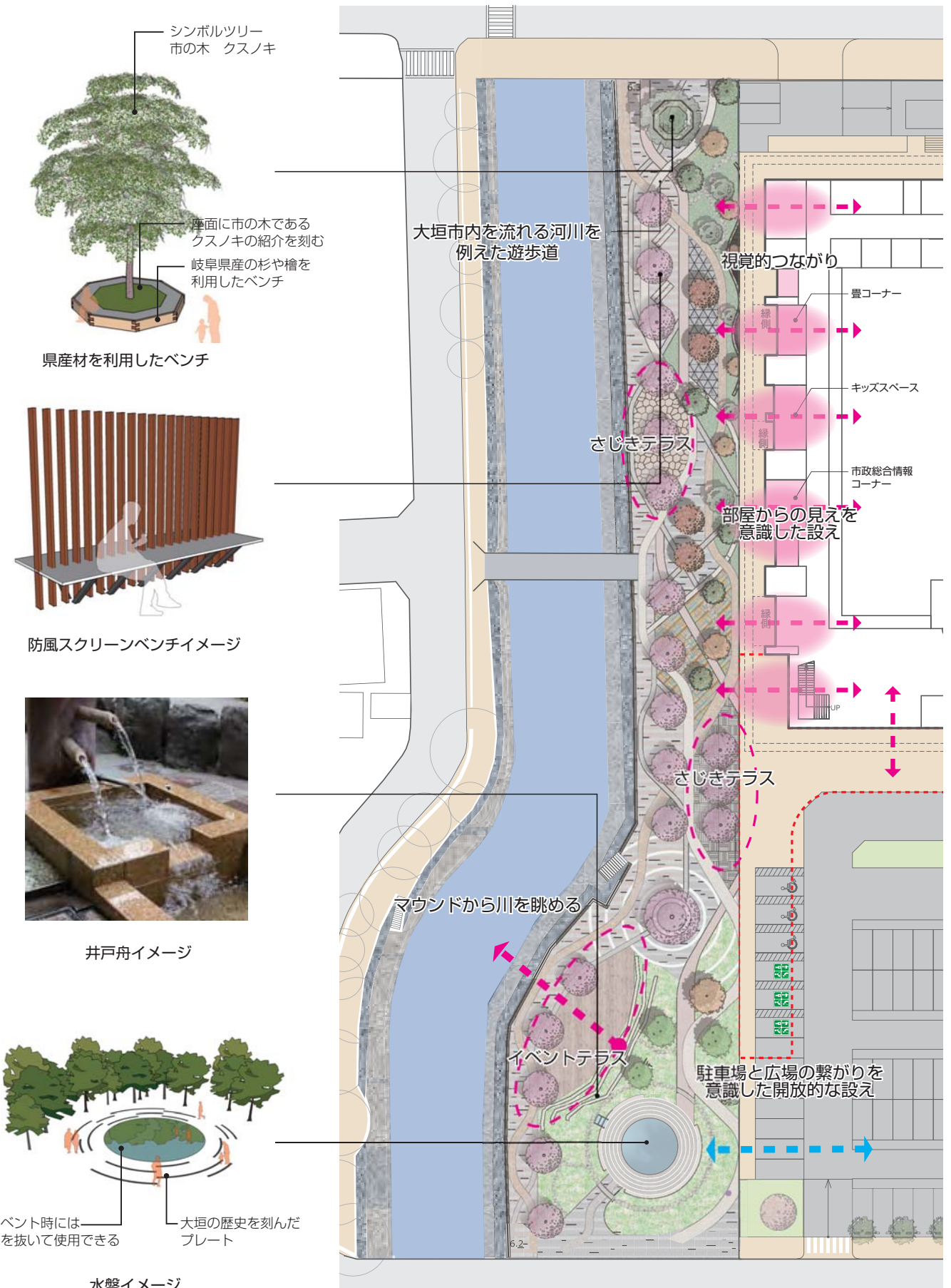


新丸の内公園のイメージ



1 階待合から新丸の内公園を見たイメージ

2. 平面イメージ



8 防災計画

地震や水害など、あらゆる災害に対応できるよう、建物の安全性を確保し、災害時のインフラ途絶時に災害対策拠点としての機能を維持できるよう、ライフラインを確保した災害時自立型庁舎とします。

1. 免震構造の採用

・免震構造を採用し、大地震に対しても建物が倒壊・損壊しないことはもとより、建物の揺れを大幅に低減することにより、設備系の損傷、什物の転倒、天井の落下などを防止し、庁舎の継続的な利用を可能とする計画とします。

2. 防災機能の充実

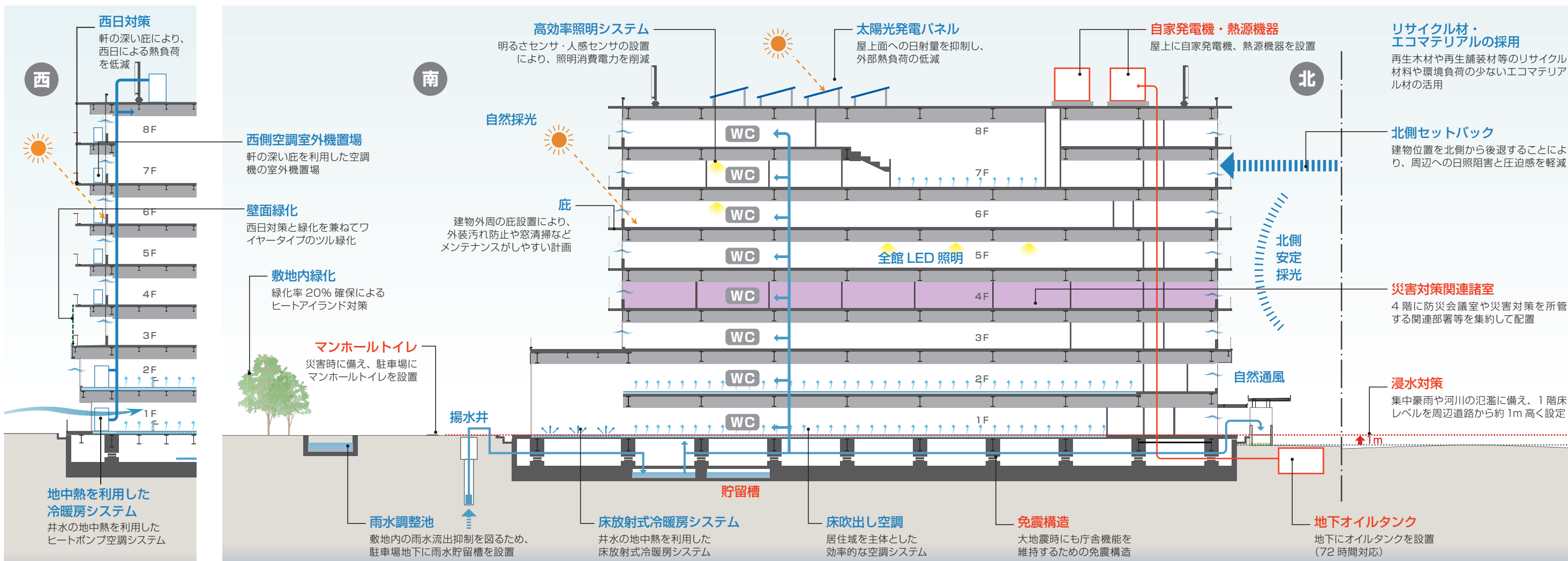
・4 階には、防災拠点として防災会議室を設置し、市長室をはじめ、災害対策を所管する関連部署や防災無線等を扱う通信室、備蓄倉庫等を同じフロアに配置します。

3. 浸水被害への対策

・浸水対策として、1階の床レベルは、周辺地盤レベルより1 m程度高く設定するとともに、自家発電設備や熱源機器等の主要な機械等は屋上に設置します。

4. 災害時の自立化

・自家発電設備や井水利用等の設備を設けることにより、災害時にもライフラインが断絶せず、応急対策や復旧・復興の拠点として機能する計画とします。また、駐車場には災害時の利用を想定し、マンホールトイレなどを備えます。



9 環境計画

本市の地域特性を踏まえ、豊富な井水や日照などの自然資源を活かした新エネルギーを導入するとともに、様々な環境配慮手法により、自然を最大限に活かした庁舎づくりを行います。

また、環境評価指標 CASBEE について、A ランクの環境性能を目指します。

1. 自然エネルギーの有効活用

・地中熱を利用した空調システムなど、積極的に井水を活用した計画とします。
・市の木「クスノキ」や市の花「サツキ」などで敷地内を緑化し、その蒸散効果により熱環境を和らげます。

2. 自然採光・自然通風の確保

・軒の深い庇により、直射光を遮りながら、自然光を取り入れます。
・東西南北の全方向から通風ができる窓を設けるほか、階段室を利用した自然換気を行います。

3. 建物の長寿命化

・各階の全周に庇を設けることで、雨垂れによる外装汚れの防止や窓清掃がしやすい計画とします。
・構造体（スケルトン）と内装・設備（インフィル）を明確に分け、将来の間仕切り変更がしやすい計画とします。

4. 周辺環境への配慮

・建物の階高をできるだけ低く抑え、建物位置を北側県道から後退させるとともに、屋上の設備機器等の目隠しパネルの位置を工夫することで、周辺建物への日照障害の軽減を図りつつ、周辺環境に対する圧迫感を軽減します。

10 ユニバーサルデザイン計画

「大垣市ユニバーサルデザイン推進指針、同サインマニュアル」に基づき、新庁舎を利用する全ての人々に優しい施設づくりを行います。

1. 敷地出入口・駐車場・敷地内通路

- ・敷地出入口から総合案内カウンターまで、視覚障がい者用誘導ブロックを敷設
- ・わかりやすい駐車場サイン

2. 建物出入口・ホール

- ・建物出入口付近に庁舎案内図を設置
- ・南出入口と東出入口の両方から近い位置に総合案内を配置

3. 廊下

- ・主要な廊下幅：180cm 以上
- ・曲がり角に目的地への誘導サインを設置



車いす利用者用駐車場やおもいやり駐車場の例（愛西市）



キッズスペースの例（愛西市）



わかりやすい総合案内の例（小牧市）

4. EV（エレベーター）・階段

- ・EV かごの幅：160cm 以上×奥行き 135cm 以上
- ・EV 出入口幅：90cm 以上
- ・階段の幅：140cm 以上
- ・階段の蹴上：16cm 以下、踏面：30cm 以上

5. 窓口カウンター

- ・車いす利用の方々も使いやすいローカウンターを中心に設置
- ・窓口特性に応じてプライバシーに配慮するカウンターを設置

6. トイレ・授乳室等

- ・オストメイトに対応した多目的トイレを設置
- ・1階にキッズスペース、授乳室を設置



ゆったりした待合の例（小牧市）



誘導ブロックの例（愛西市）



多目的トイレの例（愛西市）

7. サイン

- ・直観的に把握しやすい空間構成とするほか、色彩、アルファベット、ナンバリング、外国語表記等、初めて訪れる方々にもわかりやすいサイン計画



プライバシーを守るカウンターの例（氷見市）



色彩を使ったサインの例（愛西市）



大きな文字やわかりやすいフォントを使ったサインの例（大野市）

11 構造計画

1. 主体構造：鉄骨造（免震構造）、骨組形式：ラーメン構造

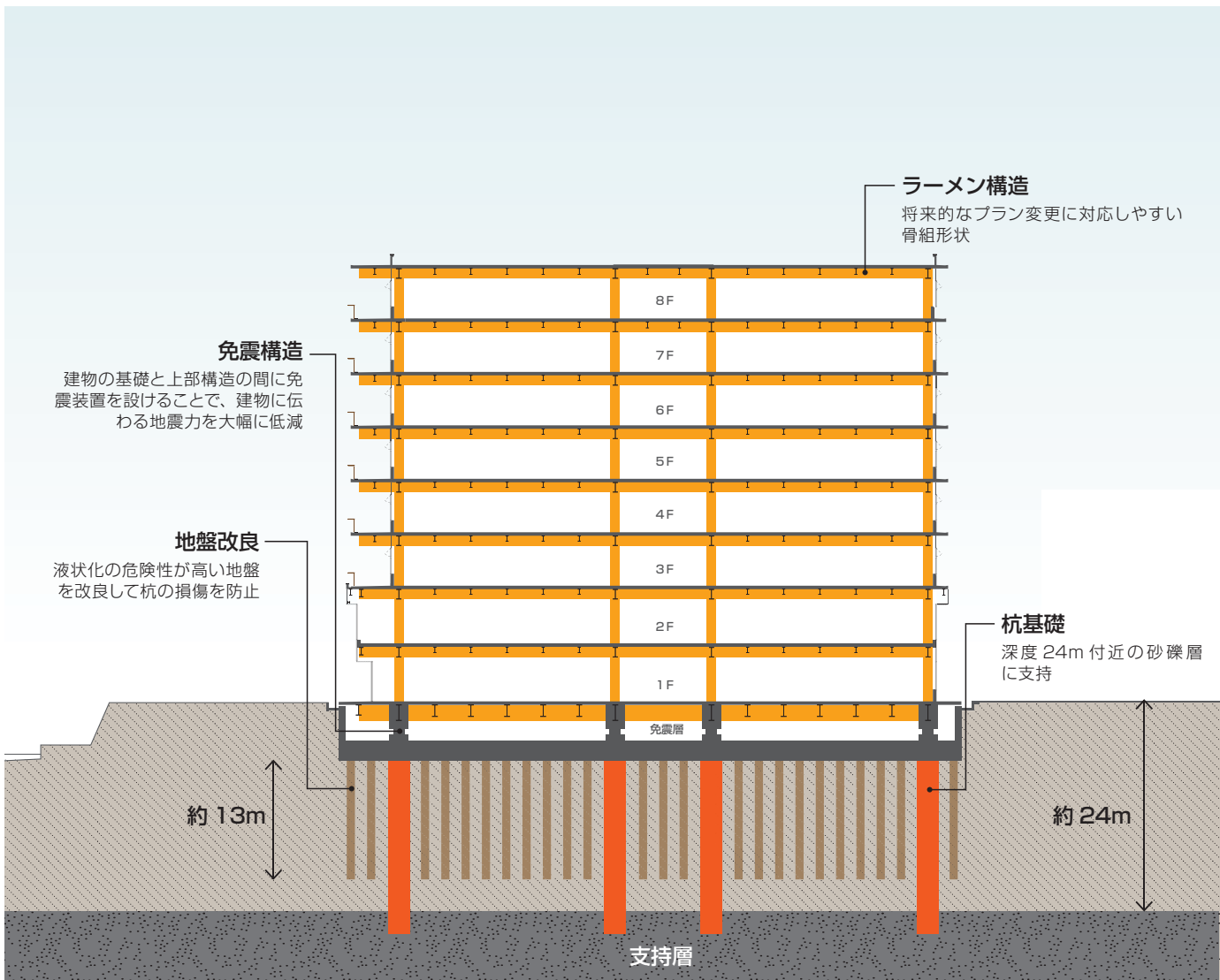
- ・上部構造は、鉄骨造とし、工期短縮を図るとともに、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造に比べ、構造断面を小さくすることで階高を抑えます。
- ・基礎部は、免震構造とし、大地震発生時の建物の揺れを大幅に低減します。
- ・骨組形式は、門型で筋交いなどを利用しないラーメン構造とし、将来的な機構変更に対応可能な構造とします。

2. 基礎構造：杭基礎

- ・基礎形式は、深度 24 m 付近の強固な地盤である砂礫層を支持層とする杭基礎（下図参照）とします。

3. 液状化対策：地盤改良

- ・地震時の地盤液状化については、地質調査の結果から、地表での可能性は低いものの、地中で発生する危険性が高いと考えられます。このため、建物下部約 13m の地盤を改良することで液状化を防止し、基礎杭の損傷を防ぎます。



12 設備計画

01. 電気設備計画

1. 電力引込	2 回線受電（本線・予備線）
2. 受電設備	キュービクル式配電盤 2,750kVA 相当
3. 自家発電設備	ガスタービン式 750kVA 相当
4. 太陽光発電	20kW 相当
5. 幹線動力設備	3 φ 3W210V バスダクト、ケーブル配線
6. 照明設備	全 LED 昼光連動、人感センサー、その他照明制御
7. コンセント設備	執務空間 50VA/㎡ OA タップ、その他必要箇所
8. 電話設備	IP-PBX 局線中継台・ダイヤルイン併用方式
9. 放送設備	非常・業務兼用型
10. 映像音響設備	議場、委員会室、防災会議室等
11. 弱電設備	情報表示、誘導支援、テレビ共同受信、監視カメラ、入退室管理、自動火災報知等

02. 機械設備計画

1. 空調設備計画

1. 熱源設備	井水熱利用熱源方式、個別熱源方式
2. 空調設備	床吹出し空調方式（1・2 階執務室の一部、議場）、放射冷暖房方式（1 階ロビー他）、空冷ヒートポンプパッケージエアコン方式
3. 換気設備	第一種換気；執務室、会議室 等（全熱交換器）第三種換気；倉庫、書庫、トイレ 等（排気ファン）
4. 自動制御設備	空調機、熱源機器まわりの情報収集等、設備機器類の警報表示 等
5. 排煙設備	自然排煙方式、一部機械排煙方式

2. 衛生設備計画

1. 給水設備	系統；飲用系統（市水）、雑用系統（井水）の 2 系統給水方式；1・2 階：上水道直圧方式、3～8 階：受水槽＋給水ポンプ＋高置水槽 受水槽想定容量；（飲用）24m ³ 、（雑用）125m ³
2. 給湯設備	局所給湯方式（電気温水器）
3. 排水設備	汚水・雑排水分流方式（建物内）、地下ピット内緊急用汚水槽；170m ³ 、 外構部；災害時対応用マンホール
4. 衛生器具設備	節水型器具
5. 消火設備	屋内消火栓設備、消火器設備、連結送水管設備
6. さく井設備	井戸設備（300 φ× 230M）、塩素注入設備、除マンガン・除鉄装置